

在宅看護学

科目到達目標: 1.地域・在宅で病や障がいとともに生きる人とその家族の生活と健康およびとりまく環境について説明できる
2.在宅療養者とその家族が「どのように生活して(生きて)いきたいか」を尊重したケアについて説明できる
3.在宅におけるチームケアと看護師の役割について説明できる。

科目責任者(所属):仁科 祐子(地域・精神看護学)

連絡先:nishina@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/2(水)	2	112	在宅看護とは 役割、特徴など	仁科 祐子	地域・精神看護学	在宅看護の役割、特徴を説明できる	「生活」「生きる」を支援する
2	10/3(木)	4	112	在宅ケアの実際1:医療的ケアを要する児と家族へのケア	前垣 義弘	脳神経小児科学	医療的ケアを要する児と家族へのケアについて説明できる	医療的ケア児、家族支援
3	10/9(水)	2	112	在宅看護の対象とは	鈴木 妙	(非常勤講師)	在宅看護の対象について説明できる	療養者(利用者)と家族 意思決定
4	10/16(水)	2	112	在宅ケアの実際2:在宅終末期ケア	鈴木 妙	(非常勤講師)	在宅終末期ケア、エンド・オブ・ライフケアについて意見を述べる ことができる	痛み、終末期ケア、緩和ケア、エンド・オブ・ライフケア
5	10/30(水)	2	112	社会資源1:介護保険制度①	仁科 祐子	地域・精神看護学	介護保険のしくみを説明できる	被保険者、介護認定、要介護度
6	11/13(水)	2	112	在宅ケアの実際3:認知症の人と家族への支援	吉野 靖子	(非常勤講師)	認知症の人と家族への支援について意見を述べる ことができる	中核症状(認知機能の障害)、BPSD、尊厳
7	11/20(水)	2	112	在宅ケアの実際4:病院と地域・在宅との連携	木村 公恵	(非常勤講師)	病院と地域・在宅との連携の実際を知る	地域連携、退院支援、退院調整、退院前カンファレンス
8	11/27(水)	2	112	社会資源2:介護保険制度②	仁科 祐子	地域・精神看護学	介護給付の種類と内容を説明できる	介護給付、居宅介護サービス
9	11/28(木)	2	112	社会資源3:訪問看護制度①			訪問看護制度のしくみを説明できる	医療保険、介護保険
10	12/4(水)	2	112	社会資源4:訪問看護制度②			訪問看護ステーションのサービス提供体制、管理、運営について説明できる	管理者、人員基準、介護保険と医療保険の使い分け
11	12/11(水)	2	112	事例検討1~4 在宅療養者とその家族が「どのように生活して(生きて)いきたいか」を知り、生活上のニーズを明らかにする。ケアプランを考える。対象者の生活の継続を支援するために必要な視点(考え方)について、自分の意見を述べる ことができる(個人ワーク・グループワーク・発表等含む)	仁科 祐子	地域・精神看護学	ICFの概念、考え方、枠組み、特徴、使用目的を理解する	ICF、居宅介護支援(ケアマネジメント)、居宅サービス計画(ケアプラン)
12	12/12(木)	4	112				在宅生活を支援する際に参考となる考え方を理解する	ストレングスモデル、生活リハビリテーション、パーソンセンタードアプローチ
13	12/18(水)	2	在宅実習室				生活への希望・意向を確認し、生活上の課題(ニーズ)を明らかにできる。必要なケアプランを考えられる	セルフケア、ケアマネジメント、継続看護
14	1/8(火)	2	在宅実習室				在宅生活支援に必要な視点について、自分の意見を述べる ことができる。在宅ケアにおける多職種協働と看護職の役割について意見を述べる ことができる	チームケア、連携・協働、自律・責任
15	1/22(水)	2	在宅実習室	特別講義:新卒で訪問看護をしよう	平尾 佳奈	(非常勤講師)	新卒訪問看護師の楽しさや困難さについて知り、訪問看護への関心を深める	新卒訪問看護師

教育ブランドデザインとの関連:1、4、5、6、7

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習をしてください。

学位授与の方針との関連:3

授業のレベル:2

評価 定期試験 50%(単位取得には定期試験で6割以上の得点が必要。)

レポート 50%(非常勤講師による講義時のレポート、事例検討と記録とレポート、その他非定期のミニレポート。)

*レポートの詳細は授業中に提示する。 *授業態度も加味する(特にグループワーク)。

*事前連絡のないレポートの提出遅れ、未提出は大幅な減点となります。

実務経験との関連: ○訪問看護ステーションの管理者として実務経験の長い看護師が、訪問看護の対象について講義する。
○訪問看護ステーションの管理者、スタッフとしての経験豊富な看護師が、在宅終末期ケアの実際について講義する。
○認知症ケア、相談に長く携わっている看護師が、認知症の人と家族へのケアについて講義する
○病院の医療福祉支援センター(入退院センター)で実務、管理をしている看護師が、退院支援について講義する
○新卒から訪問看護に従事する看護師が、訪問看護の魅力について講義する
○医療的ケア児の支援に携わる医師が、医療的ケアを要する児と家族への支援の実際について、講義する。

教科書:ナーシンググラフィカ 地域療養を支えるケア メディカ出版

参考書:長江弘子編著、生活と医療を統合する継続看護マネジメント、医歯薬出版